

# 白石市地球温暖化対策実行計画

## 区域施策編（概要版）



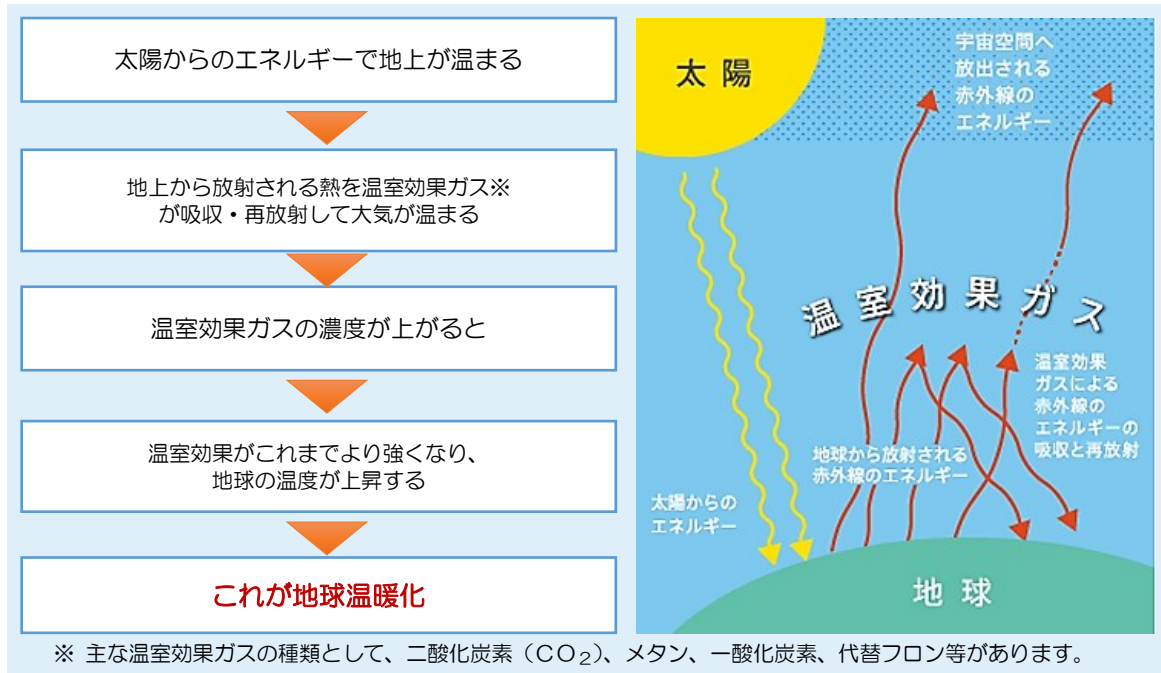
白石市は「ゼロカーボンシティ」を宣言しています

みんなで目指そう！ゼロカーボンシティ しろいし

令和8年3月  
白石市

# 1 地球温暖化とは

私たちの日々の暮らしの多くは、石油やガスなどの化石燃料を由来とするエネルギーの消費によって支えられていますが、それらによって発生する CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガスの増加が地球温暖化を進める原因の一つとされています。



出典：環境省（デコ活「地球温暖化のメカニズム」）より

# 2 「緩和策」と「適応策」

地球温暖化により引き起こされる気候変動は、私たちの生活や生態系などに様々な影響を与えており、緩和策（温室効果ガスの排出を抑制する対策）と、適応策（被害を回避・軽減する対策）の2つに取り組むことが求められています。



出典：気候変動適応情報プラットフォーム HP  
(気候変動適応に関するイラスト素材「気候変動 緩和と適応のイラスト」)より

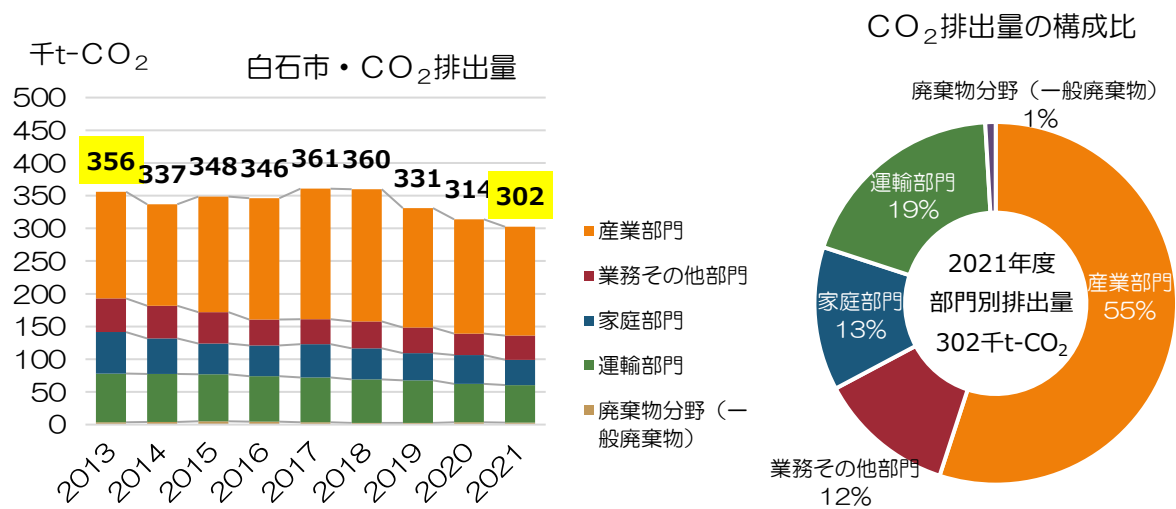
### 3 計画の基本的事項

2030（令和12）年度の温室効果ガス排出量の削減目標や地球温暖化対策に関する施策などを定め、2050（令和32）年度までのカーボンニュートラルの実現を目指します。



### 4 CO<sub>2</sub>排出量の推移

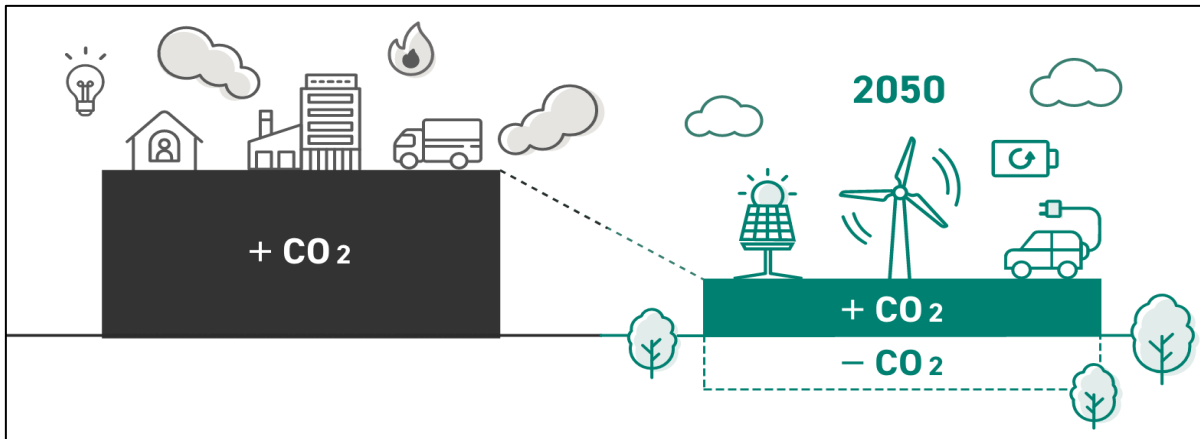
2021（令和3）年度におけるCO<sub>2</sub>排出量の部門・分野別構成比では、産業部門の排出量の割合が55%と非常に大きく、業務その他部門が12%、家庭部門が13%と排出量の割合が小さくなっています。



出典：環境省「自治体排出量カルテ」

## 5 ゼロカーボンシティの実現

CO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出量から、森林によるCO<sub>2</sub>の吸収量を差し引いた合計を実質的にゼロにすることを「カーボンニュートラル」といい、白石市では、2022（令和4）年2月17日に「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。



出典：環境省（脱炭素ポータル）より

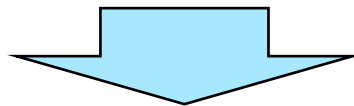
## 6 CO<sub>2</sub>排出量・森林吸収量の目標

2030（令和12）年度までに、CO<sub>2</sub>排出量を

目標

基準年度比 **50%削減**

（67.7千t-CO<sub>2</sub>削減）



2050（令和32）年度までに、CO<sub>2</sub>排出量を

目標

**実質ゼロ**

（199.5千t-CO<sub>2</sub>削減、森林吸収量29.0千t-CO<sub>2</sub>維持）

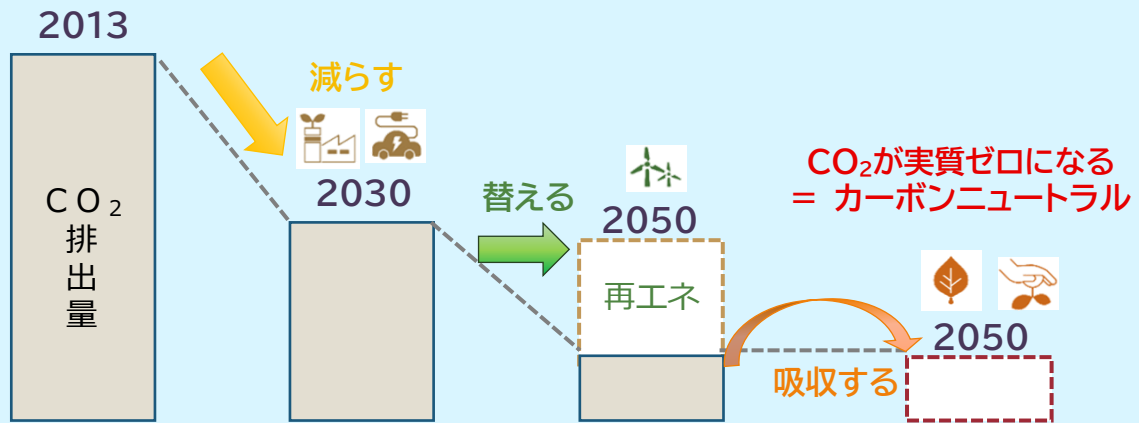
# 7 将来ビジョン

## ゼロカーボンシティ実現のシナリオ

1. 使うエネルギーを減らす

2. 再生可能エネルギーに替える

3. CO<sub>2</sub>を吸収する



## 本市が目指す将来ビジョン

	建築物の省エネ化や、太陽光発電・蓄電池による自立分散型エネルギーが普及している。
	自然と共生する風力発電・小水力発電による地域への電力供給が行われている。
	森林の保全・育成と、木材・木質バイオマスの利用を推進している。
	畜産・農業バイオマスによる地域の資源・エネルギー循環を推進している。
	資源循環が徹底され、サーキュラーエコノミーへの移行が進展している。
	電気自動車（EV）や電動バス、充電設備の普及により、地域公共交通ネットワークを構築している。
	自然災害の発生に適切に対処（適応）し、安全安心な暮らしが守られている。
	自然景観や自然環境が保全され、住みよいまちが守られている。
	魅力あふれる仕事と賑わいが創造され、豊かな人材が育成されている。

## 8

## 基本目標と基本施策

基本目標	基本施策
基本目標 1 省エネルギー行動の推進	脱炭素型ライフスタイルの実践
	省エネ設備・機器、次世代自動車の普及促進
	建築物の省エネ化の普及促進
	エネルギー使用状況の見える化の向上
基本目標 2 再生可能エネルギーの 利用促進	建物系太陽光発電の導入拡大
	未利用エネルギーの活用検討
	再生可能エネルギー100%電気の普及促進
基本目標 3 廃棄物の発生抑制・ 資源循環の推進	3R行動の実践
	生ごみの排出抑制
	廃棄物エネルギー等の活用促進
基本目標 4 ゼロカーボンシティ への取組	地球温暖化や気候変動に関する情報発信の強化
	森林吸収量の確保
	その他施策の検討
基本目標 5 市の事務・事業における CO <sub>2</sub> 排出量の削減対策	市職員が率先する省エネ行動や地球温暖化対策の実践
	省エネ設備・機器等への転換
	既存公共施設・新規公共施設の省エネ化
	再生可能エネルギーの利用拡大
	指定管理施設におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減対策

取組指標と現状値・目標値（本編より抜粋）

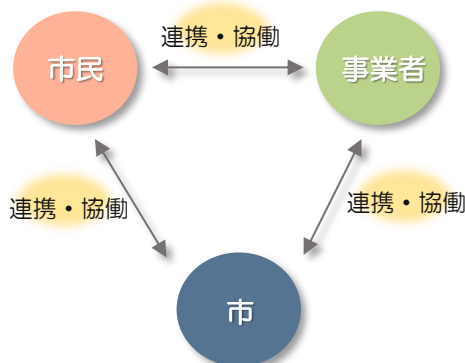
取組指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
基本目標 1	家庭でのLED照明導入率	64%	100%
基本目標 2	家庭での住宅用太陽光発電設備導入率	6.1%	21.2%
基本目標 3	1人1日当たりのごみの排出量 ※現状値：2022年度	985g	910g
	一般廃棄物リサイクル率 ※現状値：2022年度	20.7%	30%
基本目標 4	ゼロカーボンシティの認知度	3.3%	50%
	1年間当たりの森林整備面積	11.4ha	10ha以上
基本目標 5	公共施設のCO <sub>2</sub> 削減率 ※2013年度比	46%	69%
	公共施設のCO <sub>2</sub> 削減量 ※2013年度比	2.6千t-CO <sub>2</sub>	4.0千t-CO <sub>2</sub>

# 9

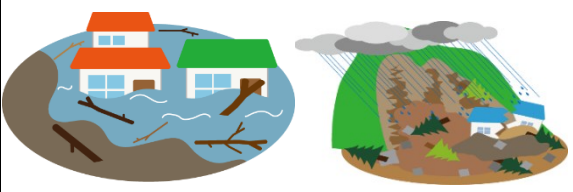

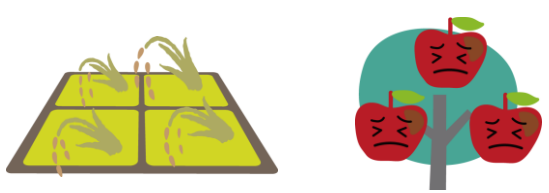

## 目標達成に向けたロードマップ

基準年度 2013		中期目標 2030	長期目標 2050
		50%削減	カーボンニュートラル
基本目標1	省エネルギー行動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ行動の普及啓発と実践</li> <li>省エネ設備・機器の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車の選択</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>新築建築物のZEH化、ZEB化</li> <li>既存建築物の高断熱化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EMSの導入</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>国、県の補助事業の情報発信</li> <li>市補助事業の検討</li> </ul>	
基本目標2	再生可能エネルギーの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築物への太陽光発電等の導入</li> <li>カーポート型太陽光発電の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ100%電気の利用</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>国、県の補助事業の情報発信</li> <li>市補助事業の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地系太陽光、風力、小水力発電等の検討</li> <li>バイオマス、木質バイオマスの活用検討</li> </ul>
基本目標3	廃棄物の発生抑制・資源循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Rの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーキュラーエコノミーの推進</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>3きり運動等の普及啓発と実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ処理機等の普及促進</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>有機性廃棄物等のリサイクル体制の構築</li> </ul>
基本目標4	ゼロカーボンシティへの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化や気候変動、省エネルギーに関する情報発信の強化</li> <li>環境教育、エネルギー教育や学習活動の推進</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境譲与税に関する取組</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に優しい公共交通車両の導入</li> <li>緑化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素型交通の推進</li> <li>木材利用体制の構築</li> <li>木質バイオマスの活用</li> </ul>
基本目標5	市の事務・事業におけるCO2排出量の削減対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ行動の実践</li> <li>3Rの実践による廃棄物の発生抑制</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ設備・機器、次世代自動車の率先導入</li> <li>既存公共施設の省エネ化、新規公共施設のZEB化</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電等の率先導入</li> <li>再エネ100%電気への転換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BEMSの導入</li> </ul>

「ゼロカーボンシティ」達成



# 10 地球温暖化による影響の例

<p style="text-align: center;"><b>洪水・豪雨</b></p> 	<p style="text-align: center;"><b>水不足</b></p> 
<p style="text-align: center;"><b>食糧不足</b></p> 	<p style="text-align: center;"><b>健康被害</b></p> 

出典：気候変動適応情報プラットフォーム（「気候変動適応に関するイラスト素材」を使用し作成しています。）

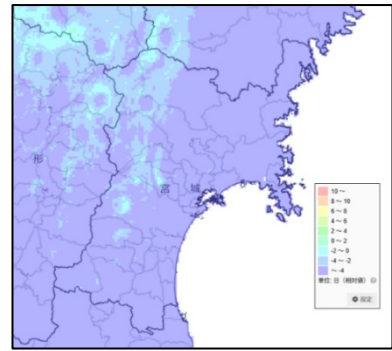
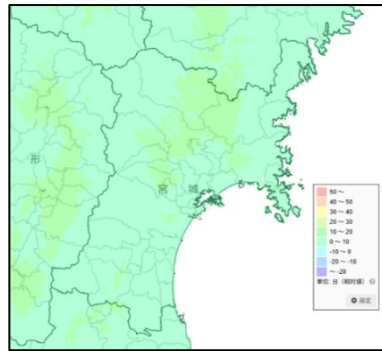
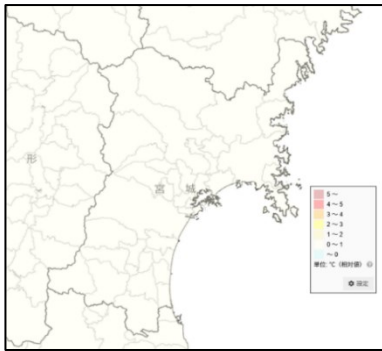
# 11 宮城県への気候変動の将来予測

日平均気温

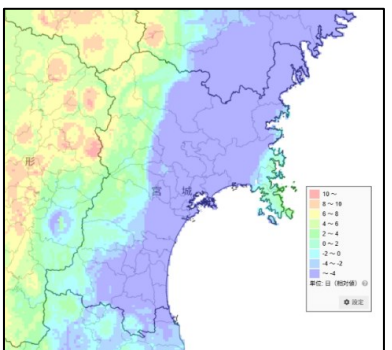
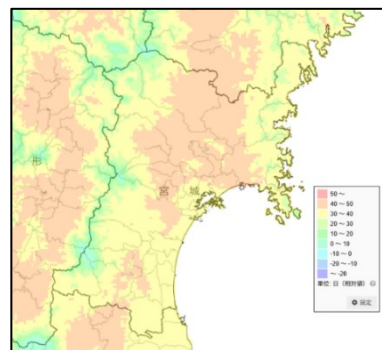
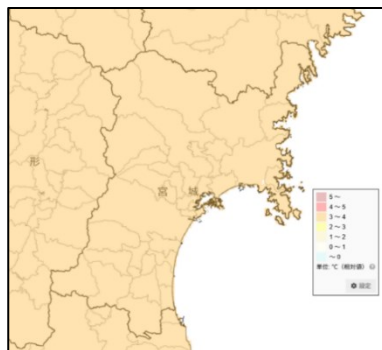
真夏日の日数

無降水日数

厳しい温暖化対策を実施した場合の予測



厳しい温暖化対策を実施しなかった場合の予測



出典：気候変動適応情報プラットフォーム HP（気候変動の将来予測 WebGIS）より

## 12 気候変動適応策の例

水環境・水資源 	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>現状・将来予測</p> <p>                        渇水                      水質悪化  </p>	<p>考えられる適応策</p> <p>                        節水・雨水利用などの工夫                         ダム湖                      水の循環装置などを使用した水質改善                 </p>
自然災害・沿岸域 	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>現状・将来予測</p> <p>                        土砂災害                      浸水被害  </p>	<p>考えられる適応策</p> <p>                     ハザードマップ                      (洪水被害予測地図)                      の確認、                      避難経路の確認                         治水安全度                      向上のための                      ハード整備                         雨水貯留槽など                 </p>
健康 	
現状・将来予測	考えられる適応策
<p>現状・将来予測</p> <p>                     熱中症                           ヒトスジシマカ                      が媒介するデング熱                 </p>	<p>考えられる適応策</p> <p>                        こまめな水分補給                      エアコンの適切な使用                      ×                      水たまりを                      作らない工夫                      ヒトスジシマカへの注意                 </p>

出典：気候変動適応情報プラットフォーム HP(気候変動適応に関するイラスト素材「気候変動適応7分野概要イラスト」)より

# 13 できることから始めよう、暮らしを脱炭素化するアクション!

<p><b>クールビズ・ウォームビズ</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★気候に合わせた服装で、仕事の効率がアップします。</li> <li>★新たな働き方に合わせた服装で、リラックスして仕事ができます。</li> <li>★過度な冷房使用を見直すことで、家族の健康(体温調節機能の維持)にもつながります。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>19kg-CO<sub>2</sub>/人</b></p> <p>冷房の設定温度を今よりも1℃高く、 暖房の設定温度を今よりも1℃低く変更した場合</p>	<p><b>省エネ家電の導入</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★電気代が節約できます。</li> <li>★新しい省エネ家電は便利な機能も向上しているため、生活がより快適になります。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>(冷蔵庫)163kg-CO<sub>2</sub>/世帯</b></p> <p>一例として、冷蔵庫を10~14年程度前の製品から最新型の製品に買い換えた場合</p>
<p><b>蓄電池(EV・車載の蓄電池)・蓄エネ給湯機の導入・設置</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★貯めた電気やエネルギーを有効活用することで、光熱費の節約や災害対応力の向上につながります。</li> <li>★自然災害に備え、非常用電源として導入しておくことで安心です。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>121kg-CO<sub>2</sub>/人</b></p> <p>ガス・石油給湯器をヒートポンプ式給湯器に置き換えた場合</p>	<p><b>太陽光発電の導入</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★年間の電気代の削減ができます。</li> <li>★自家発電することで、余剰分を売電することも可能です。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>1,275kg-CO<sub>2</sub>/人</b></p> <p>太陽光発電した場合に削減できるCO<sub>2</sub>排出量</p>
<p><b>食事を食べ残さない</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★食べ残しの持ち帰りが可能であれば、廃棄も減らせる上に、次の食事として食べることで食費の面でもおトクです。</li> <li>★適量の注文により、食事代を節約できます。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>54kg-CO<sub>2</sub>/人</b></p> <p>家庭と外食の食品ロスがゼロになった場合</p>	<p><b>マイバッグ、マイボトルなどを使う</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★自分の好きなおしゃれなバッグや容器を楽しめます。</li> <li>★海洋汚染等の環境負荷を軽減し、生態系を守ることによって自分たちの生活をプラスチック汚染から守ることができます。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>(マイボトルの活用)4kg-CO<sub>2</sub>/人</b></p> <p>使い捨てのペットボトル(500ml)をステンレス製のマイボトルに置き換え、年間30回、5年利用した場合</p> <p><b>(マイバッグの活用)1kg-CO<sub>2</sub>/人</b></p> <p>年間300枚のレジ袋を、ポリエステル製のマイバッグ(3枚)に代替した場合</p>
<p><b>植林やごみ拾い等の活動</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★環境を大事にする気持ちを行動で表せます。</li> <li>★脱炭素アクションの取組を発信・シェアすることで、取組の輪を広めることができます!</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>0.8kg-CO<sub>2</sub>/本</b></p> <p>木を1本植林した場合</p>	<p><b>自宅でコンポスト</b></p> <p><b>家庭でのメリット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★作成した「たい肥」は、家庭菜園やガーデニングに活用できます。</li> <li>★生ごみを捨てる手間が省けます。</li> </ul> <p><b>年間のCO<sub>2</sub>削減量</b></p> <p><b>18kg-CO<sub>2</sub>/世帯</b></p> <p>生ごみを可燃ごみとして処理せずに、コンポスト等で堆肥化した場合</p>

## 白石市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)概要版

令和8年3月 策定 令和8年3月 発行

発行者 宮城県白石市

〒989-0292 宮城県白石市大手町1番1号

電話 0224-22-1314

白石市市民経済部環境課編集